

用途

天然成分だけで造られた屋内・屋外に使用可能な白色の天然本漆喰です。塗装面は水に強く、強アルカリの性質により高いカビ防止効果を保持します。ローラーで塗装できるのが大きな特徴です。専用のプライマーを使用することにより壁紙の上にも塗布することが可能です。



手順



1 「準備」

下地の種類や状況に応じて適切な下地処理を行います。(裏面参照)
事前に商品をよくかき混ぜてから作業を開始してください。



2 「1 回目の塗装」

塗装面の外周部分をハケで丁寧に塗装した後、幅が広めの中毛ローラーを使い縦と横方向へクロスするように、規定量(0.1L / m²)を塗装面全体へしっかり塗っていきます。



3 「2 回目の塗装」

1 度目の塗装から 24 時間経過後、同じ要領で 2 度目の塗装を行います。最終レイヤーの塗装では縦か横一方向に限定し、端から端まで規則正しく塗ると美しく仕上がります。万が一下地が透ける場合は 3 回目の塗装を行ってください。
※屋外は 3 回以上塗装を行ってください。

使用方法 + 注意事項

- ・推奨施工環境は 8℃～30℃、湿度 40～85%です。(冬場は室内および製品を数時間、規定温度以上に暖めてください。)
- ・強アルカリ性の材料につき、周囲に飛散しないようマスキング作業を入念に行ってください。
- ・使用の前によくかき混ぜてからご使用ください。内容成分が確実に混ざり合っていないと色ムラや定着不良の原因になります。
- ・製品が変質を起こさないよう他の製品や物質を混合しないでください。
- ・施工前に必ずテスト施工を行い、製品の特性を理解し、異常のないことを確認してください。
- ・全工程で、塗装面を湿気や直射日光、埃に晒さないでください。また製品は直射日光の当たるところに放置しないでください。
- ・容器内で乾燥した塗料の欠片が製品(液体)へ混入することがあります。必要に応じて網などでこしてから塗装してください。
- ・本製品は強アルカリ性です。塗装時はゴーグルを着用し、皮膚も保護してください。
- ・本製品は基本的に原液でご使用ください。下塗り時のみ水で最大 10% まで希釈可能です。
- ・塗布量の目安は、1 回の塗装で 0.1リットル / m² (1リットル / 10 m²) です。
- ・塗装回数目安は、屋内では 2 回、屋外では 3 回以上です。
- ・屋外塗装時は少なくとも 5 日間は雨にさらさないでください。
- ・乾燥時間は 24 時間です。(重ね塗りする際も同様・低温または高湿度の場合は乾燥時間が延びます)
- ・乾燥を促すため、作業中および乾燥工程では、じゅうぶん換気を行ってください。(強制乾燥禁止)
- ・塗装用具は使用後すぐに新聞紙やウエス等で液体をできるだけ拭き取り、中性洗剤を使って水洗いしてください。
- ・屋内用途のみ専用顔料 Nr.350 を混ぜることにより着色可能です。屋外用途には無着色(白色)でご使用ください。
- ・塗装面にテープ類、粘着物は使用しないでください。塗装が剥がれる場合があります。
- ・漆喰の特性上、軽微な光沢ムラ・チョーキングが生じる場合があります。また地震や衝撃等によりひび割れが生じる場合があります。
- ・保管は確実に密栓し子供や認知症の方などの手の届かない冷暗所にて。(作業中も要注意)
- ・品質保持期限は未開封にて購入から 2 年間です。

下地調整

【屋内における下地条件】

- ・下地は清潔且つ乾燥した状態で吸水性がある状態であればなりません。土、砂、油脂、皮脂、粘着物、レイタンス、パテの削りカス、その他汚れ等が付着していないことを入念に確認してください。
- ・下地の処理や調整には知識や技術、経験が必要です。状況に応じて専門業者の指導を仰ぐなどしてからご使用ください。尚、塗装面のひび割れを防ぐため下地対策は万全にしてください。(対策例：石膏ボードのビスピッチを150mm以下とする、目地のパテ処理では必ず寒冷紗を入れる・必要に応じて塗装用の壁紙を貼るなど)
- ・強度のないもろい壁面、やわらかい壁面(布クロスなど)には塗布できません。下地のヨレ、たわみ、変形等は壁面のヒビ割れや剥がれを引き起こします。
- ・塗装面にキズ、穴、継ぎ目、ひび割れ、凹凸等がある場合は、必要に応じて適切な材料で補修してください。
- ・意図しない部分にペイント材が付着した場合は、できるだけ早めに水で洗い流すか濡れたタオルで拭き取ってください。

【下地材別プライマーの案内】

プライマー 下地材	Nr.301	Nr.329	Nr.505
石膏ボード	○		
レンガ	○		
砂壁	○ 砂の粒子が細かい場合	○ 砂の粒子が荒い場合	
壁紙・クロス			○
コンクリート・漆喰塗装面	プライマー不要	プライマー不要	プライマー不要
その他			○

*壁紙へ塗布する場合

- ・壁紙の上に塗布する場合は、既存壁紙の定着力(特に継ぎ目・角・隅)をよく確認し、必要に応じて補修、補強してください。その後、Nr.505(グリップコート)を塗り残しがないようしっかり塗布し、乾いたら本製品を上塗りすることが可能です。(塗装下地用壁紙には本製品を直接塗布できます)

*その他の下地

- ・下地素材が不明な場合、および吸水性のない既存塗装面(ウレタン塗装面、ラッカー塗装面など)の上にはNr.505(グリップコート)を下塗りしてください。
- ・下地に様々な材料が入り組んでいる場合(例：石膏ボード+壁紙、石膏ボード+既存塗装、クロス+コンクリートなど)にはNr.505(グリップコート)を全体的に下塗りしてください。